

令和5年度 社会福祉法人鷹山会 事業報告

法人本部

重点目標を掲げて運営。地域における公益的取り組みにある「おげんき会」、生活困難者総合相談生活支援事業「福ふくくらしサポート事業」、福井市委託事業「介護者のつどい」など、役職員が一丸となって地域課題に取り組んだ。また人材定着・育成制度を見直し、新たな人事制度「STEP UP SMILE」を完成させた。

理念の3本柱「地域と共に歩む福祉を目指す」「高齢者一人ひとりの尊厳と自立を大切にする」「悠々と和やかに暮らせる社会を実現」に沿って事業を展開した。

介護老人福祉施設 悠和園

新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら事業を運営。コロナ感染症が発生するも、家族面会やボランティア・慰問の受入を再開するなど、利用者が生き生きと暮らせるよう運営した。一昨年度に理学療法士を採用、高齢者の自立支援に一層取り組んだ。

悠和園短期入所生活介護

利用者数は、コロナ5類移行後に増加の傾向。感染予防に努め安全に運営した。

悠和園デイサービスセンター

新型コロナの影響で利用を控える状況が続いたが、昨年は地域高齢者のうち「認知症予防・フレイル予防」の意識が高まり利用者数が一定数増加。リハビリ機器を活用してのフレイル予防、また認知症予防ソフトを活用してサービス活動を実施。棗・国見・鷹巣（高須含む）の3地区高齢者が、いつまでも地元で暮らせるよう積極的に支援した。

悠和園介護相談センター

利用者数は昨年度とほぼ同数の利用者数で運営。内訳として介護度が低い利用者の割合が増加。介護予防を目的にサービスを利用する高齢者の割合が増加。コロナ明けにより、高齢者の意識が変化している。

幸の家

YOUTUBE や Instagram などの SNS による広報活動を展開。またコロナが5類に移行後、居室面会や地域との交流活動を再開。高齢者が豊かな自然の中で、地元と繋がりながら生活できるよう運営した。

以上